

終末期医療に関する意思確認書についての説明書

終末期には約 70%の方がご自身の意思決定が困難になるといわれています。

あらかじめ意思を示しておくことでご自身の望む生き方をご家族や身近な方に知っておいてもらうことができます。

また、ご自身の意思に反した治療を受けなくてもよくなります。

この確認書はご自身の気持ちを大切にできるようご本人、ご家族、身近な方、医療者で話し合い、文書化しておくためのものです。

署名されたのちに内容を変更することは可能です。

わからないこと、聞いておきたいこと、伝えておきたいことがある場合にはいつでもお申し出ください。

《用語説明》

- | | |
|---|---|
| 1) 終末期 | 現在の医学では回復の見込みが期待できない状態
さらに死が差し迫った状態を狭義の終末期 |
| 2) DNAR (Do Not Attempt Resuscitation) | 心肺停止時に心肺蘇生を行わないこと |
| 3) 心肺蘇生 (CPR : cardiopulmonary resuscitation) | 心臓が停止した際に (心肺停止) 心臓マッサージや除細動
(電気刺激)、人工呼吸、昇圧剤の投与などを行うこと |
| 4) 心臓マッサージ | 胸の上から心臓付近を強く押して心臓を動かす手技 |
| 5) 気管挿管
鼻 | 自力で呼吸ができなくなった場合に肺に空気を送り込むため、口や
鼻から気管内に管を入れること |
| 6) 人工呼吸器の装着 | 気管に挿入した管に人工呼吸器をつけて人工的に呼吸を助ける方法 |
| 7) 気管切開 | のどのあたりを数 cm 切開して穴をあけること。そこから直接気管
に管を入れて、痰をとったり気道を確保したり人工呼吸などを行う |
| 8) 昇圧剤の使用 | 血圧をあげるため昇圧剤という薬を点滴などから入れること |
| 9) 輸血・血液製剤の使用 | 出血や貧血に対して輸血・血液製剤を使用すること |
| 10) 人工透析の実施 | 腎不全に陥った場合に腎臓の代わりに、機械で血液をろ過して不純
物を取り除き体内に戻す医療 |
| 11) 鼻チューブ (胃管) による栄養補給 | 食べ物を飲み込むことができなくなったり、必要な栄養や水分を口
から取れなくなった場合に、鼻から胃まで管 (胃管) を通して、
経管栄養剤により栄養補給すること |
| 12) 中心静脈による栄養補給 | 鎖骨の下、首、太ももの太い静脈にカテーテルを入れて、高カロリー
一薬 (輸液) を点滴により補給すること |
| 13) 胃ろうによる栄養補給 | 腹部の皮膚面から胃に直接管をいれて、〇〇栄養を入れる方法 |